

最近の円高進行に対する見解

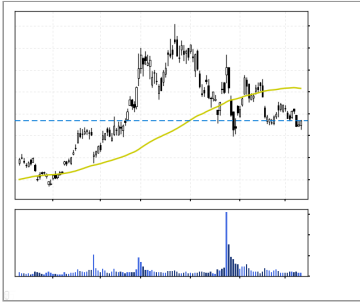
主なポイント

- 円は9月第2週、主要通貨に対しておしなべて急伸。足元では1ドル=153円台、1ユーロ=178円台の推移
- KOAはQ2～Q4の想定為替レートを1ドル=159円、1ユーロ=185円としている
- 当サイトは足元の円高が中間決算に与える影響は極めて小さいと考えている
- 中間決算で想定為替レートが円高方向に見直される可能性は高いが、材料費減が相殺するだろう
- もっとも、今次円高局面が長期化すれば、下期にかけて当サイトシナリオのVisibilityは低下する
- 下期を通じて足元の水準で推移する場合、会社予想に対する影響はOPベースで▲6億円程と予想する

	今期			来期		
	コンセンサス	独自	かり(%)	コンセンサス	独自	かり(%)
営業益	4,600	6,500	+41.3%	6,100	8,500	+39.3%

関連レポート

IDEA——来期にかけて市場期待を大幅に上回る業績推移へ（2026年8月）



— 現在株価

6ヶ月目標株価

未設定

現在株価

2,170

25日平均出来高

61万株

25日平均売買代金

14億円

信用残高

+1.01日

KOA（プライム、コード6999）

電子部品 | 日本

電子部品メーカーとして、電子機器の回路部品である抵抗器を主力に、IC、複合部品などの製造販売を手掛ける。世界各地に拠点を設け、アジアを中心とする海外向けが売上高の4分の3を占める。抵抗器を、自動車向けを中心に産業機器、家電製品、通信、電源などの分野に提供。固定式抵抗器でトップシェアを誇る。ネガパターンを形成したスクリーンを用いてペーストを印刷するスクリーン印刷成膜などの加工、微細構造といった設計、材料配合・合成、パッケージ設計のような実装、測定・分析・評価ほか様々な技術を基盤に発展。成長市場の自動車に向けた高耐圧、高電力対応製品や、AI関連機器に向けた大電流シャント、小型高精度製品などに注力している。1940年、興亜工業社を創業、固定抵抗器の製造を開始。47年、株式会社に改組。73年、マレーシアに子会社を設立して以降、米国、シンガポール、台湾、中国、ドイツなどへ生産・販売・研究開発を含め拠点を増やす。86年、社名をコアに変更。2015年、現社名に改称。（QUICK企業価値研究所）2025/11/18

業績ハイライト

四半期業績（累計）

	今期Q1 (実)	今期中間 (予)			今期Q3 (予)		
		日経	コンセンサス	独自	会社	コンセンサス	独自
売上高	20,880	43,000	44,000	44,000	-	67,000	66,000
営業利益	851	2,540	3,000	2,700	-	4,500	4,700
営業利益率	4.1%	5.9%	6.8%	6.1%	-	6.7%	7.1%
純利益	1,629	5,250	-	5,400	-	-	7,000
EPS	43.88	141.31	-	145.00	-	-	188.00

	今期Q1 (実)	今期中間 (予)			今期Q3 (予)		
		日経	コンセンサス	独自	会社	コンセンサス	独自
配当	-	-	-	31.50	-	-	-

通期業績

	前期 (実)	今期通期 (予)			来期 (予)	
		会社	コンセンサス	独自	コンセンサス	独自
売上高	72,287	87,300	84,450	90,000	89,300	100,000
営業利益	3,646	5,360	4,600	6,500	6,100	8,500
営業利益率	5.0%	6.1%	5.4%	7.2%	6.8%	8.5%
純利益	3,951	7,740	6,750	8,500	4,250	6,000
EPS	106.41	208.42	181.68	229.00	114.39	161.00
配当	32.00	63.00	63.00	63.00	-	63.00